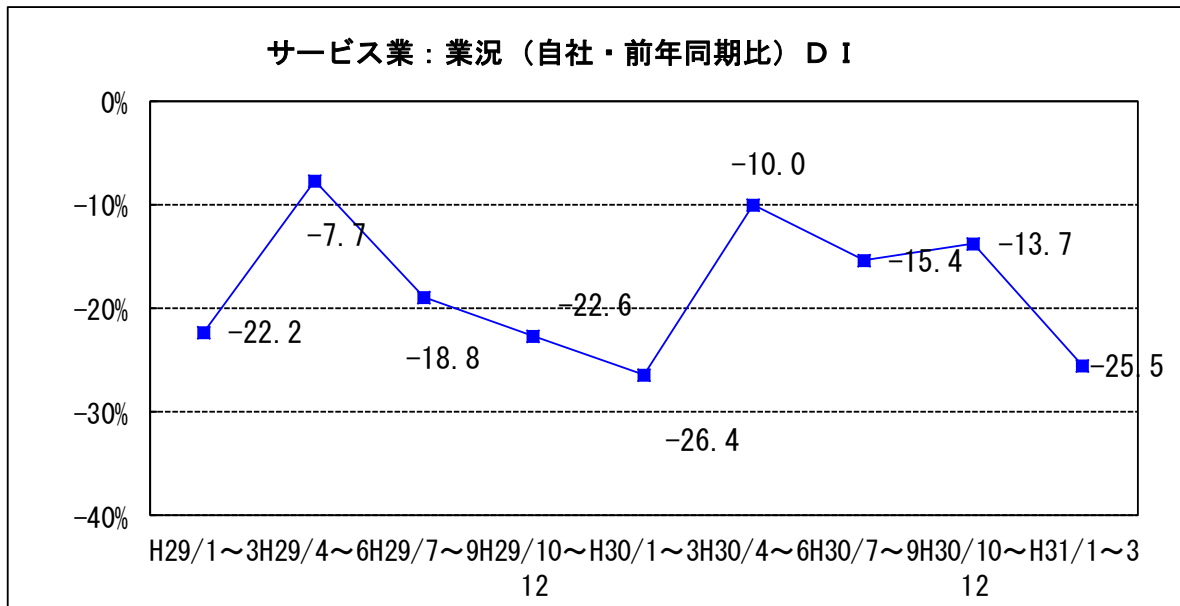


5. サービス業の動向

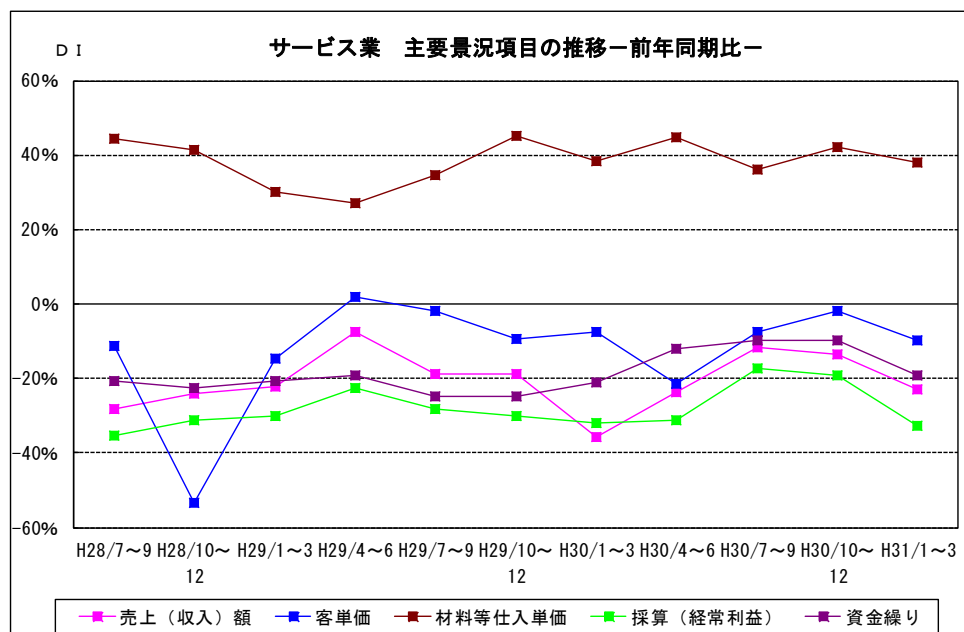
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、▲25.5。前期▲13.7から11.8ポイント下降した。
来期見通しは▲13.8とやや改善する見込み。



サービス業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

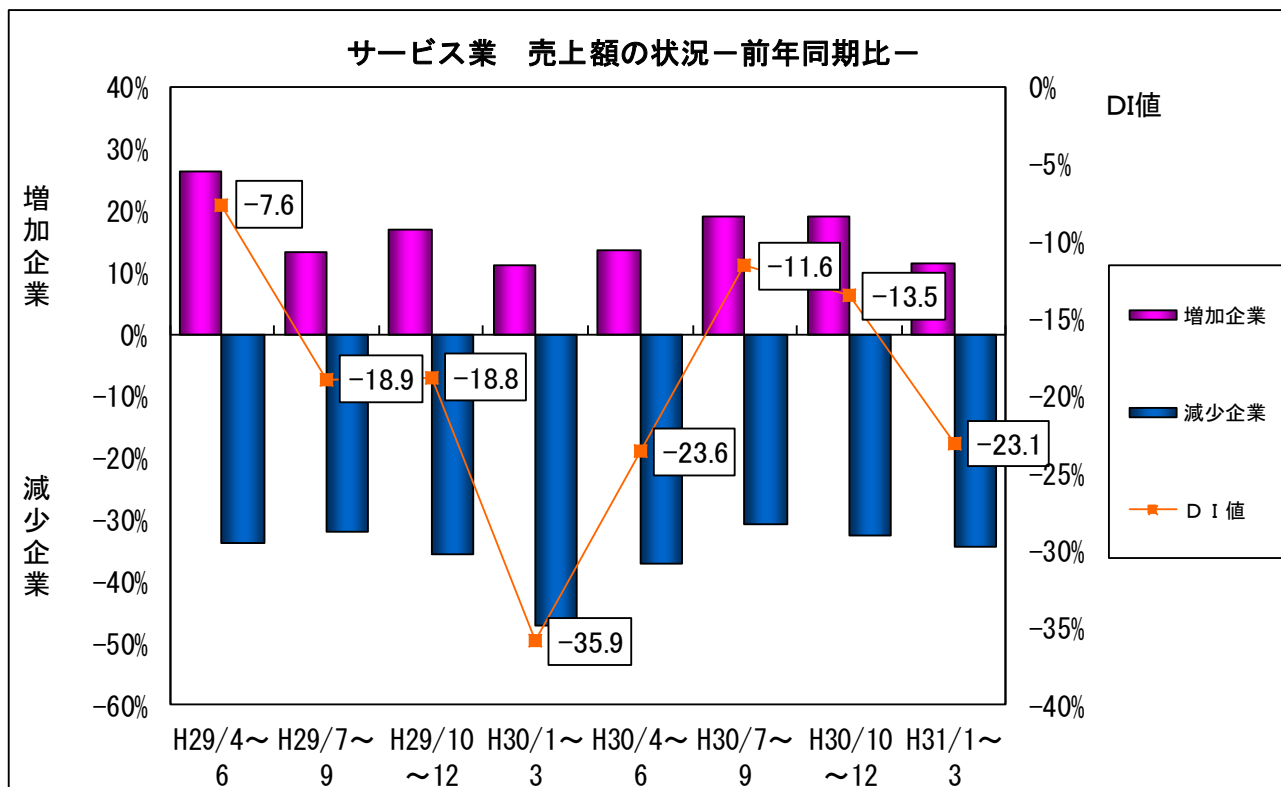
	前々期 (30年7月~9月)	前期(A) (30年10月~12月)	今期(B) (31年1月~3月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期見通し
売上(収入)額	▲11.6	▲13.5	▲23.1	▲9.6	▲9.6
客単価	▲7.7	▲2.0	▲9.6	▲7.6	▲5.8
材料等仕入単価	36.0	42.0	38.0	▲4.0	38.0
採算(経常利益)	▲17.3	▲19.3	▲32.7	▲13.4	▲26.9
資金繰り	▲9.7	▲9.6	▲19.3	▲9.7	▲7.7



(2) 主要項目の概況

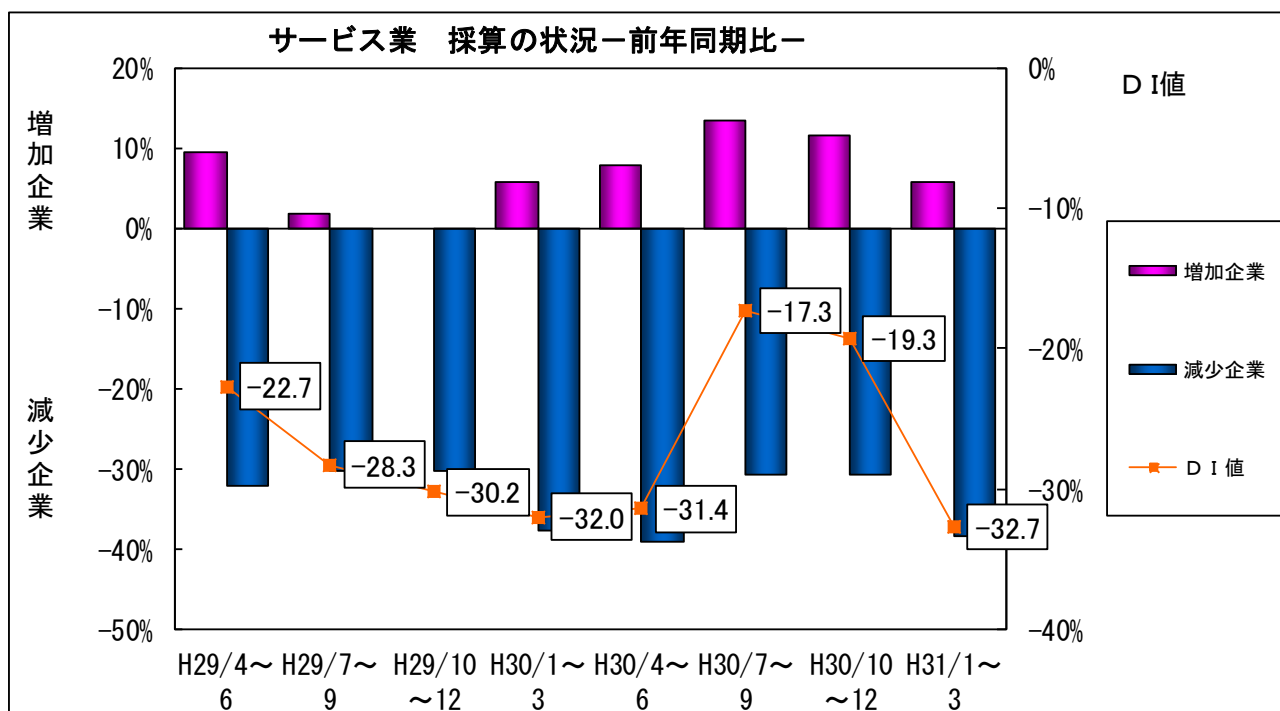
①売上（収入）額（前年同期比）

今期の売上（収入）額D I 値は、▲23.1。前期の▲13.5 から 9.6 ポイント下降した。
 来期見通しは、▲9.6 とやや上昇する見通し。



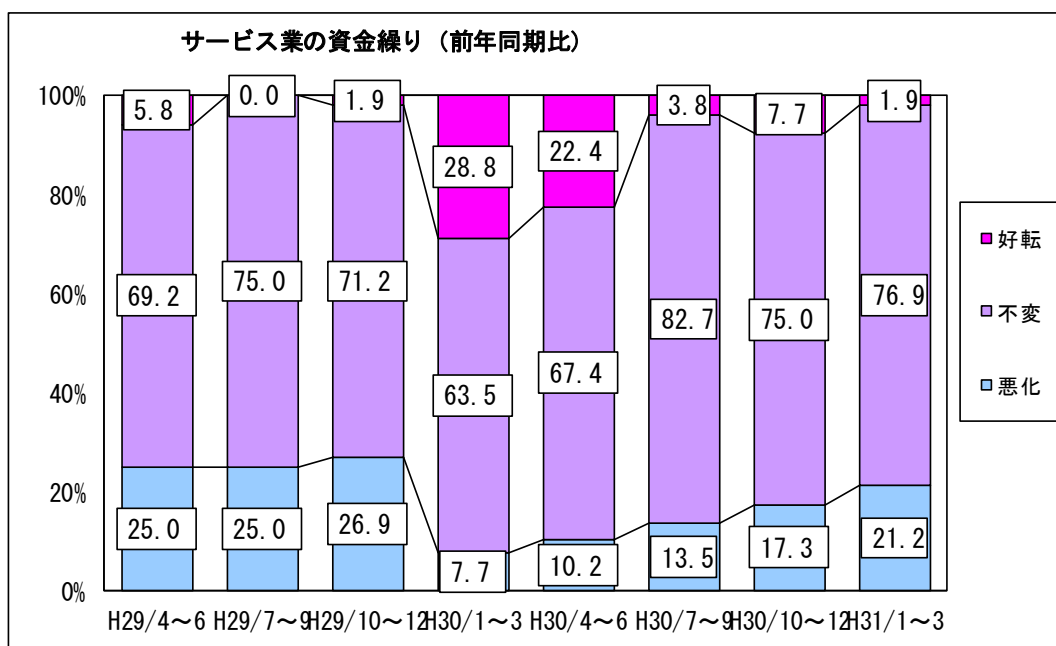
②採算（前年同期比）

今期の採算D I 値は、▲32.7。前期の▲19.3 より 13.4 ポイント下降した。
 来期見通しも、▲26.9 とほぼ横ばいの見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I値は、▲19.3。前期の▲9.6から9.7ポイント悪化している。
来期見通しは▲7.7と回復する見込み。

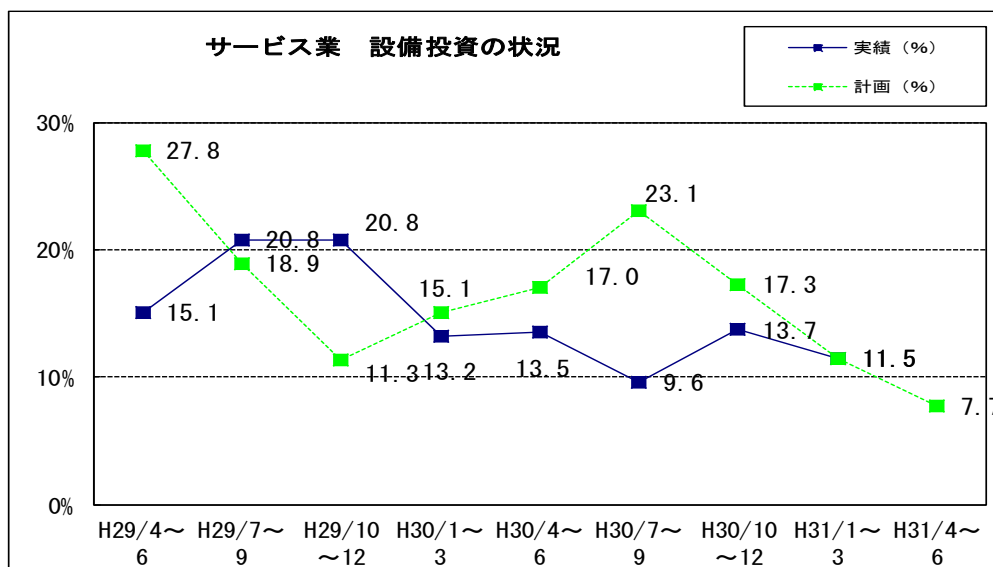


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土地	建物	サービス	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福利厚 生施設	その他	
前期実施（実数）	7	0	0	1	1	5	0	0	1	44
（%）	13.7	0.0	0.0	14.3	14.3	71.4	0.0	0.0	14.3	86.3
今期実施（実数）	6	1	1	2	1	0	1	0	1	46
（%）	11.5	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	88.5
来期計画（実数）	4	0	2	0	2	0	0	0	0	48
（%）	7.7	0.0	50.0	0.0	50	0.0	0.0	0.0	0.0	92.3

今期設備投資を実施した企業は6社（11.5%）。前期（平成30年10～12月期）実施企業7社（13.7%）と1社減少。来期は4社（7.7%）が設備投資を計画している。

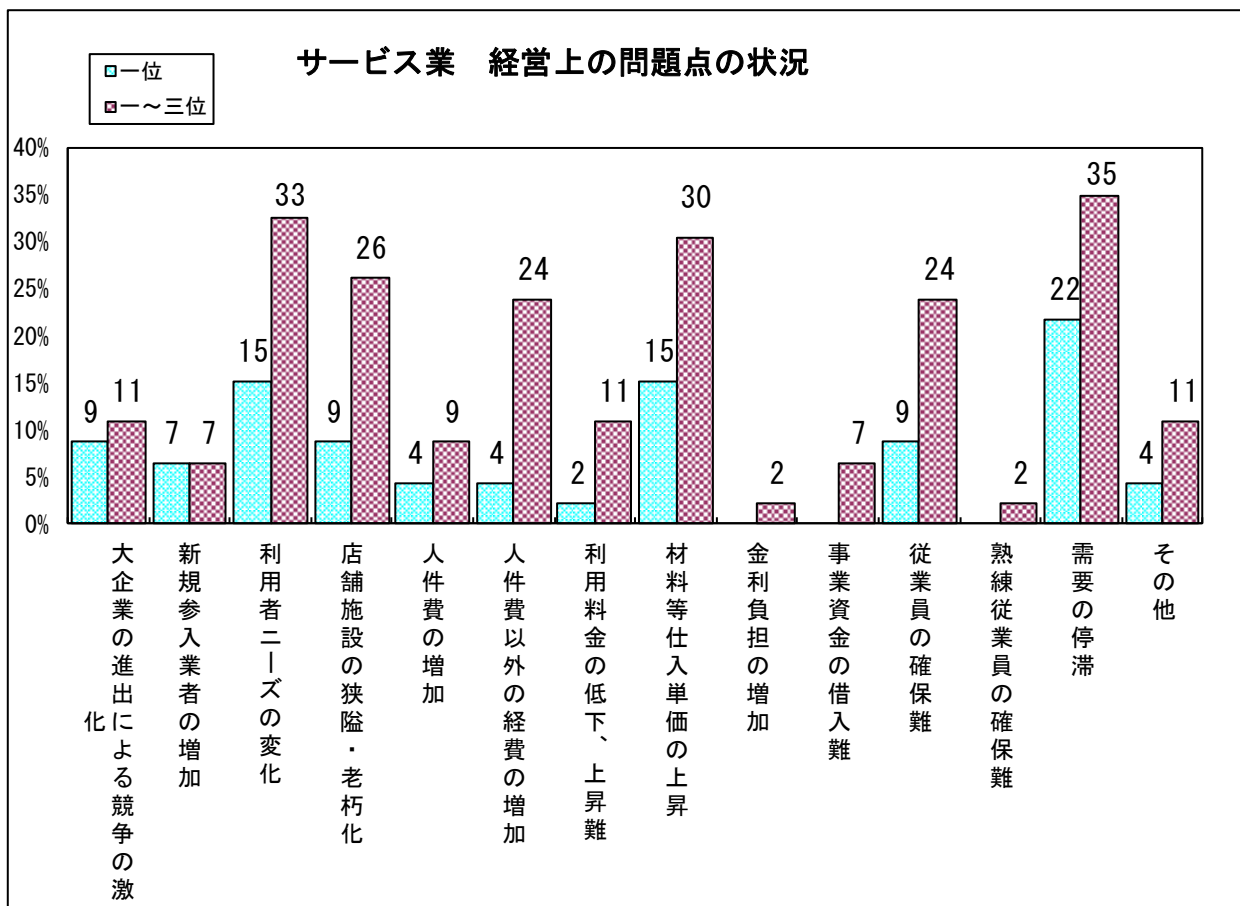


⑤経営上の問題点

今期、サービス業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、

- ・ 「需要の停滞」 (前期 27.7%→今期 34.8%)
- ・ 「利用者ニーズの変化」 (前期 23.4%→今期 32.6%)
- ・ 「材料等仕入単価の上昇」 (前期 31.9%→今期 30.4%)
- ・ 「店舗施設の狭隘・老朽化」 (前期 27.7%→今期 26.1%)
- ・ 「従業員の確保難」 (前期 23.4%→今期 23.9%)

となっている。



以上